

豊田市の孤独・孤立対策（つなぐる）の考え方及び令和6年度の取組について（案）

社会構造の変化（単身世帯増）やコロナ禍を経て孤独・孤立を感じやすい社会環境に変化したことに対し、国が孤独・孤立対策推進法（令和6年4月施行、以下、法）及び重点計画（令和6年6月策定、以下、計画）を定め、地方自治体での対策が求められている。

国の調査では、社会参加の機会が多い20代～50代が他の世代よりも孤独・孤立を感じており、孤独・孤立対策は一人暮らし高齢者に限らない課題となっている。

孤独・孤立は誰にでも起こり得るため、**社会全体の気運醸成を図りつつ、官・民一体かつ全庁で連携してつながりづくり（つなぐる）に取り組む**、孤独・孤立対策を推進する。

1 豊田市の孤独・孤立対策の考え方（つなぐる）

法及び計画に基づき、国の基本理念である【予防】【支援】【脱却】の3つの要素を踏まえ、豊田市の孤独・孤立対策の考え方（つなぐる）を下図のとおり4本柱で整理。

「つなぐる」*を合言葉に、気軽にみんなで取り組むことを想起するつながりづくりを推進。
※SNSやWEB等で検索して情報収集することを指す「ググる、タグる」等と同様に、各種媒体や社会資源を活用してつながりを生み出すこと

つなぐるCredo

- 社会全体で対応する**
孤独・孤立は個人の問題ではない。
官・民一体で取り組みましょう。
- 孤独・孤立を生まない**
孤独・孤立から更なる問題が生まれる。
それぞれの取組に孤独・孤立対策の視点を入れて、各課題の解決とともに孤独・孤立の問題も解消しましょう。
- 声を上げやすい社会づくり**
誰にも「ためらい」や「恥じらい」がある。
誰かに相談することは良いことであり、「共に生きる」ことについて市民一人一人の理解・意識や気運を高めていきましょう。
- つながり合う地域づくり**
相談できる誰かと居場所を確保する。
市民活動や企業の居場所づくりや居場所の「見える化」を推進する結節点となり、相乗効果を生み出しましょう。

◆この4本柱を、豊田市職員が仕事に取り組むうえで常に持ち歩く心構え「つなぐるCredo」とし、市役所が孤独・孤立対策の考え方を率先して体現し、地域社会への浸透を図る。

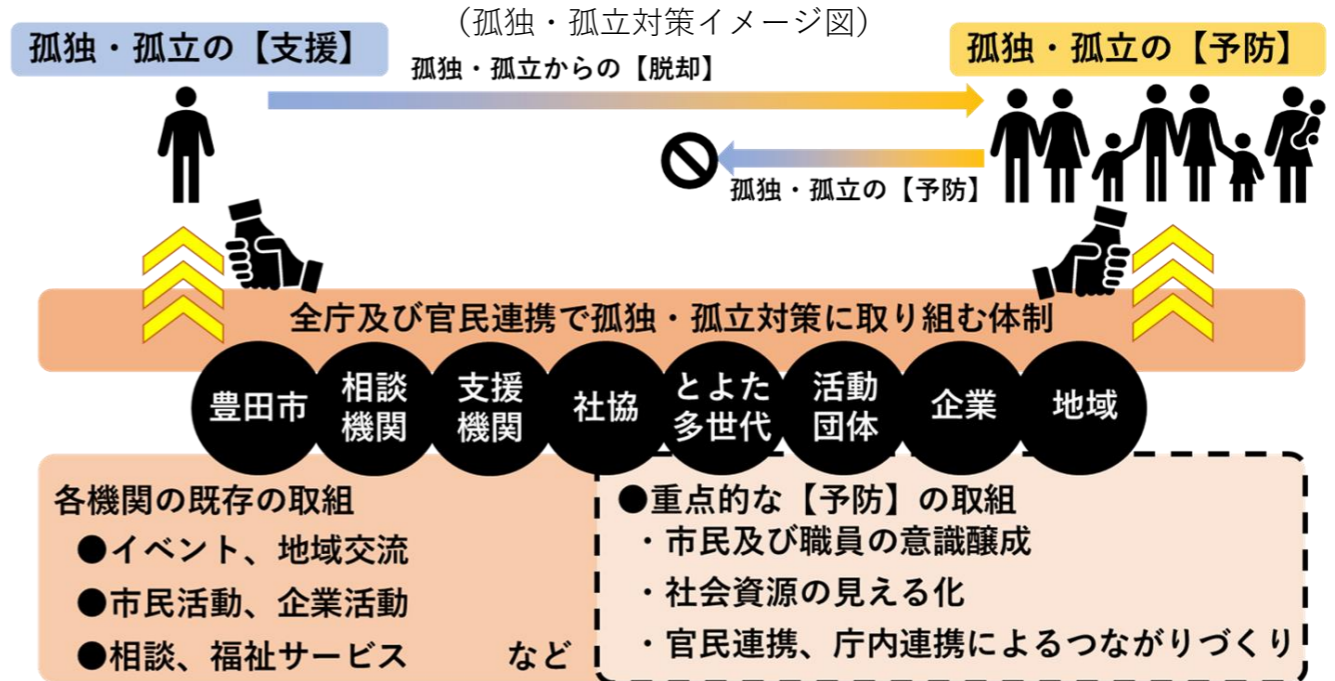
◆**市の取組は基本的に孤独・孤立対策につながるもの**であり、「つなぐるCredo」に基づき、全職員がそれぞれ**孤独・孤立対策の視点を入れて、取り組む**ことを推進

取組例

- ・ イベント等の開催にあたって、情報発信先を増やしたり、介護予防事業に子や孫の参加を受け入れたりするなど、可能な範囲で柔軟な受け入れ体制を整備
- ・ 窓口での手続きや相談の対応時に、他に困りごとはないか察知する意識をもって、必要に応じて適切な機関へつなぐなど、声を上げやすい環境整備を推進

2 重点的に取り組む事項

- ◆社会参加の機会が多い世代が孤独・孤立を感じやすいことや、悩みや困りごとが深刻化・複雑化する前に対応することが重要なため、**全庁及び官民連携で【予防】に重点を置いた孤独・孤立対策を推進**する。
- ◆孤独・孤立状態の人に対する**【支援】**及び孤独・孤立状態からの**【脱却】**については、**分野をまたいで総合的に取り組む重層的支援体制**で引き続き支援する。



3 令和6年度の具体的な取組

- ◆重点的に取り組む**【予防】**については、各課の既存の取組に加え、新たに以下に取り組む。
 - 市民及び職員の意識醸成**
 - ・ 「つなぐるCredo」（左図、名刺サイズ）を全職員に配布
 - ・ 孤独・孤立の当事者体験ができるカードゲームの制作
 - ・ カードゲームの庁内研修、学校等への出前講座等の体験イベントで職員及び市民へ啓発
 - 社会資源の見える化**
 - ・ 悩みごと別に相談先を選択できる市HPとチラシ作成
 - ・ 関係各課と連携し、相談機関や取組をGoogle及びYahoo!で検索連動型広告*の出稿
 - ※WEBの検索結果ページの一番上に出てくる広告サイト
 - 官民連携によるつながりづくり**
 - ・ 企業や団体の社会貢献活動や居場所づくりなどの活動を発表するイベントを毎月開催し、参加団体間の交流、連携とまなび合いを促進（撮影した動画をSNSに投稿、広告出稿*）
 - ※YouTube、Instagram視聴時に強制的に再生される広告動画
 - ・ 各課で所管するサポーターやボランティア等を対象にした講演会実施（令和7年2月）
 - 庁内連携によるつながりづくり**
 - ・ 民生児童委員をはじめ、高齢者交通安全防犯推進員など各課が実施する訪問事業と連携し、訪問の際にチラシ等で相談機関を周知（今後、各課と調整）
- ◆その他**【支援】**についても、身寄りを頼ることができない人への支援を試行実施予定。

4 今後のスケジュール

- ・ 8月20日 地域福祉専門分科会に「孤独・孤立対策の考え方」について付議
- ・ 8月28日 企業や団体の活動を発表するイベント開催（第1回）
- ・ 秋～ 職員へのCredo配布、チラシ作成、広告出稿
- ・ 冬～ カードゲーム完成、庁内外で体験イベント実施